

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2015年11月10日（火）18：31～19：58

場 所：虎ノ門 第一オカモトヤビル4階会議室

出席者：理 事：飯島、大谷、小川、尾山、黒岩、児玉、才藤、庄野、新通、関根、外山、
丹羽、星野、三輪

欠席者：理 事：伊藤、北村、羽柴、平松

監 事：今北、藤田（以上、アイウエオ順）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に庄野理事、同署名人に才藤理事を指名して、下記議案につき審議した。

1. 外洋加盟団体長会議並びに JSAF 理事改選の件

議長より既にメールにて出張報告書と議事録を提出しているが、10月3日青森に於いて外洋加盟団体長会議が開催され、詳細は報告書に譲るが、来年 JSAF 理事の改選があるが、現体制維持にて賛同を得たことが報告された。また、来年2月6～7日の日程にて外洋合同会議が大阪に於いて開催予定であるが、今まで当クラブからの参加者が少なかった事実を踏まえ、個人的な意見であるが、大変有益な情報交換ができるので、各委員会の予算を会議出席に充ててはどうかと考える旨が披露され、後の議題として検討頂きたいとの説明がなされた。三輪理事より理事改選9名のうち外洋系3名のため協力を願いたいとの補足説明もなされた。

2. 新春親善レースの件

才藤理事より別紙公示と帆走指示書が配布され、若干の修正はあるが、1月10日開催とする本案にて実施したい旨が説明され、昨年度との大きな違いとして、昨年はコースを二つ用意していたが、今年是一本に絞ることが挙げられ、理由は初声沖の定置網の危険性のためと説明された。三輪理事からはルール委員会宛にプロテスト委員長選任の依頼があり、北村理事または五十嵐氏を候補と考えている旨が補足された。尚、当クラブにて計上している予算についてはカップ代に充当し、例年同時開催されている安全祈願祭は1月3日に実施予定である旨が披露され、全会一致にて承認された。

3. レース報告の件

飯島理事より別紙当クラブ主催・共催レースの一覧表が配布され、今後実施されるレースを除いても今年度累計586艇の参加を得て開催されていること、またオールドセーラーヨットレースの日程がなかなか決められず最終的に逗子マリーナカップに合流させて頂いたこと、来年度はレース委員会に於いても予算を確保して貢献していきたい旨が報告された。

4. 関東四団体合同忘年会の件

関根事務局長より12月2日18時30分より渋谷に於いて関東四団体合同忘年会が今年も開催予定であり、永年表彰対象者として白崎氏を挙げており、多数の出席をお願いしたい旨が報告された。

5. 各委員会予算執行についての報告の件

- ◇三輪理事よりルール委員会については1月16日(土)13時~16時30分小網代ヨットクラブのクラブハウスに於いて、三輪理事が講師を務めての「今更聞けないヨットレースのルール」講演と模擬審問の実践を予定しており、当クラブ会員限定で会費を徴収の上実施予定である旨が報告された。
- ◇星野理事より安全委員会についてはこれまでのところ動きはないが、講義を行いたい旨が披露され、協議の結果、児玉理事に講師を務めて頂き、沖縄東海レースの話しを披露して頂くこととなり、日程はKFR前日の2月19日(土)を候補として検討することとした。外山理事より小網代沖の定置網にその後も2艇が接触する事態が発生しているが対応はどうなっているかとの質疑が出され、新通理事より海上保安庁へ掛け合ったが相手方へ強い申し入れはなされなかった旨が回答され、神奈川県庁の担当部局へ申し入れを行うこととした。

6. 2月外洋合同会議出席者選任の件

議長より来年2月6~7日に大阪にて開催される外洋合同会議へ当クラブの各委員長に是非出席してもらいたいと考えており、各委員会の予算をそのために使っても良いのではないかと考えるが、理由としては最新の情報が得られることと有益な情報交換ができることであり、加えて過去を振り返ると予算の使い残しが目に余ることが挙げられる旨が披露された。懇親会参加費は個人負担として、交通費並びに宿泊費は当クラブ負担とすることが承認された。

7. 捜索救助の保険活用ワーキンググループの件

庄野理事より11月18日に第一回の会合を開催予定であることと、3月の理事会までに結果をまとめて理事会へ諮りたい旨が報告された。

8. 会費未納者・セーラーズ保険の件

- ◇関根事務局長より別紙報告書が配布され、本日現在会費未納者は1名となり、退会扱いとしたい旨が諮られ、承認された。これまでの努力により、昨年度銀行振込の会員約80名のうち約30名が自動振替へ移行したことが報告された。
- ◇関根事務局長よりJSAFセーラーズ保険の保険料につき、先の通常総会にて一律2千円を徴収することで承認されたが、65歳以上の加入者につき保険内容が大幅に変更された上でJSAFへ支払う保険料が1,200円に減額されたことに伴い、65歳以上の加入者から徴収する保険料を1,400円に変更したい旨が諮られ、承認された。尚、当クラブのセーラーズ保険加入者は約30名程であるが、大変お得な保険のため、次年度に向けて加入促進の宣伝を行っていくこととした。

9. その他

- ◇議長より10月の外洋加盟団体長会議の場に於いて、学生の外洋レース参加を促進するため、支援を考えていこうとの話題が上がり、当クラブに於いては小網代カップがその対象になると思うので、今後の課題としたい意向が示された。また同会議に先だって、国際VHF無線船舶局の更新並びに利用料につき、外洋東京湾・外洋三崎・外洋湘南の会長達と話し合い、みさきヨット無線局を事実上維持運営している当クラブに

て面倒をみることで打診したが、議論がかみ合わなかったので、合同忘年会の前にも集まって話し合う場が必要である旨が報告された。

◇関根事務局長より ORCAN と JSAF の契約が 12 月で終了するのに伴い、JSAF の中に ORC 委員会を設置し、関根事務局長にその担当を担ってもらいたい意向のようであるが、これを機に引退したいと考えている旨が説明された。尚、全世界での IRC 証書発行枚数は昨年約 7,000 枚、今年約 4,000 枚と激減しているところ、ORC 証書は微増であり、JSAF は両レーティングを管理していく模様であることが補足された。

◇三輪理事より本日欠席の平松理事に代わり①加山雄三氏に JSAF の応援団に就任してもらうことになり、12 月に記者発表予定であること、②4 月 10 日をヨットの日として申請予定であり、当クラブに於いても同日にレース開催の検討をお願いしたいこと、③前述の趣旨に基づき 4 月 9 日を候補としてフリート対抗レースの開催を検討願いたいこと、などが報告され、議長よりフリート対抗レースは実現に向けて動いていきたい旨が補足された。

◇関根事務局長より来年度の関東ミドルボート選手権は 5 月 3～5 日の日程に決した旨が報告された。

以上で本日の議事を全て終了し、19 時 58 分閉会した。

以 上

2015 年 1 月 日

議事録署名人